



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月29日

上場会社名 アツギ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日光 信二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 古川 雅啓 TEL 046-235-8107
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 4,497 | △6.2 | △284 | — | △108 | — | 22 | — |
| 2024年3月期第1四半期 | 4,791 | 7.5 | △430 | — | △128 | — | △149 | — |

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 643百万円(△17.8%) 2024年3月期第1四半期 783百万円(26.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | 1.40 | — |
| 2024年3月期第1四半期 | △9.33 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 42,931 | 34,084 | 79.4 |
| 2024年3月期 | 42,014 | 33,441 | 79.6 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 34,084百万円 2024年3月期 33,441百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 24,000 | 13.2 | 500 | — | 600 | — | 1,600 | 20.1 | 99.86 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年3月期1Q | 17,319,568株 | 2024年3月期 | 17,319,568株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期1Q | 1,299,912株 | 2024年3月期 | 1,299,322株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2025年3月期1Q | 16,019,865株 | 2024年3月期1Q | 16,023,084株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 9 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化や、所得環境の改善等により、緩やかな回復の動きが見られました。その一方で、不安定な国際情勢や、外国為替相場の円安基調等による資源・エネルギー価格の高騰、これらを背景とした物価上昇等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、インバウンド需要に支えられ、市況は堅調に推移しているものの、物価上昇の長期化による消費者の生活防衛意識や節約志向は根強く、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』を改訂いたしました。改訂後の計画では、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」の4つの新たな課題を掲げて、それぞれの課題に対する戦略を推進しております。あわせて、企業ブランド強化策の一環として、「肌と心がよろこぶ、今と未来へ。」をパーパスに、「肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。」をビジョンに制定し、グループ一丸となってこれらを実現するための取り組みを進めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、重点取組項目であるD2C(Direct to Consumer)での販売は、顧客目線での商品企画・開発を行った新たなアイテムの展開や、オペレーション体制の強化により、自社オンラインショップ及びECモールでの売上が順調に推移いたしました。しかしながら、消費者の生活防衛意識や節約志向の高まり等により全体の売上高は前年を下回る水準で推移いたしました。利益面においては、商品価格の一部見直しを進めたことや、生産機能を中国工場へ集約し生産体制の最適化を図ったことによる製造原価の低減効果により、営業損益は改善傾向にあります。また、改訂後の『ATSUGI VISION 2024』において掲げた政策保有株式の縮減方針に則り、政策保有株式の売却を進めたことによる投資有価証券売却益98百万円を特別利益に計上いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,497百万円(前年同四半期比6.2%減)、営業損失は284百万円(前年同四半期は430百万円の損失)、経常損失は108百万円(前年同四半期は128百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円(前年同四半期は149百万円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

[繊維事業]

レグウェア分野は、既存ルートにおいて、物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まり等から、単価の低いセパレートストックキングが伸長し、プレーンストックキングが苦戦したことにより、同分野の売上高は2,348百万円(前年同四半期比5.6%減)となりました。

インナーウェア分野では、新規アイテム及び取扱い先の拡大により紳士インナーウェアは順調に推移しましたが、婦人インナーウェアにおいてはショーツ類が苦戦し、同分野の売上高は1,850百万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。

これらの結果、当事業の売上高は4,199百万円(前年同四半期比6.3%減)、営業損失は402百万円(前年同四半期は537百万円の損失)となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めており、当事業の売上高は140百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業利益は105百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は堅調に推移いたしましたが、介護用品の販売は苦戦しました。これらの結果、当事業の売上高は157百万円(前年同四半期比8.5%減)、営業利益は25百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は42,931百万円となり、前連結会計年度末に比べ917百万円増加いたしました。これは主に、棚卸資産の増加1,253百万円、有形固定資産の増加866百万円、流動資産のその他の増加552百万円、売上債権の減少938百万円、投資その他の資産の減少668百万円、現金及び預金の減少213百万円等によるものであります。

負債の部は8,847百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務の増加319百万円等によるものであります。

純資産の部は34,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ643百万円増加いたしました。これは主にその他の包括利益累計額の増加621百万円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は79.4%（前連結会計年度末は79.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,870 | 3,657 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,185 | 3,246 |
| 商品及び製品 | 5,010 | 5,992 |
| 仕掛品 | 1,072 | 1,291 |
| 原材料及び貯蔵品 | 652 | 704 |
| その他 | 2,220 | 2,772 |
| 貸倒引当金 | △26 | △28 |
| 流動資産合計 | 16,983 | 17,637 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,639 | 1,677 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,905 | 1,956 |
| 土地 | 11,982 | 11,982 |
| 建設仮勘定 | 1,216 | 1,995 |
| その他(純額) | 72 | 70 |
| 有形固定資産合計 | 16,815 | 17,681 |
| 無形固定資産 | 1,669 | 1,736 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,076 | 5,718 |
| 繰延税金資産 | 25 | 33 |
| その他 | 443 | 124 |
| 投資その他の資産合計 | 6,544 | 5,876 |
| 固定資産合計 | 25,030 | 25,294 |
| 資産合計 | 42,014 | 42,931 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,434 | 1,753 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 470 | 470 |
| 未払法人税等 | 135 | 51 |
| 賞与引当金 | 44 | 29 |
| その他 | 2,020 | 2,186 |
| 流動負債合計 | 4,104 | 4,491 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 439 | 381 |
| 繰延税金負債 | 1,578 | 1,554 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,286 | 1,286 |
| 退職給付に係る負債 | 894 | 883 |
| その他 | 270 | 249 |
| 固定負債合計 | 4,468 | 4,355 |
| 負債合計 | 8,572 | 8,847 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 20,000 | 20,000 |
| 資本剰余金 | 10,272 | 10,272 |
| 利益剰余金 | △734 | △711 |
| 自己株式 | △1,468 | △1,468 |
| 株主資本合計 | 28,069 | 28,091 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,172 | 2,100 |
| 繰延ヘッジ損益 | 785 | 1,013 |
| 土地再評価差額金 | 388 | 388 |
| 為替換算調整勘定 | 2,025 | 2,490 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,371 | 5,993 |
| 純資産合計 | 33,441 | 34,084 |
| 負債純資産合計 | 42,014 | 42,931 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 4,791 | 4,497 |
| 売上原価 | 3,357 | 2,949 |
| 売上総利益 | 1,434 | 1,547 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,865 | 1,832 |
| 営業損失(△) | △430 | △284 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 99 | 79 |
| 為替差益 | 160 | 99 |
| その他 | 50 | 6 |
| 営業外収益合計 | 311 | 185 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6 | 3 |
| 租税公課 | 0 | 2 |
| その他 | 1 | 2 |
| 営業外費用合計 | 9 | 8 |
| 経常損失(△) | △128 | △108 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 98 |
| 特別利益合計 | — | 98 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1 | 1 |
| 特別損失合計 | 1 | 1 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △130 | △11 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5 | 51 |
| 法人税等調整額 | 13 | △85 |
| 法人税等合計 | 19 | △33 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △149 | 22 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △149 | 22 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △149 | 22 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 319 | △71 |
| 繰延ヘッジ損益 | 423 | 228 |
| 為替換算調整勘定 | 190 | 464 |
| その他の包括利益合計 | 932 | 621 |
| 四半期包括利益 | 783 | 643 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 783 | 643 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|---------|-------|-------|--------------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 繊維事業 | 不動産事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| レグウェア | 2,488 | — | 2,488 | — | 2,488 | — | 2,488 |
| インナーウェア | 1,991 | — | 1,991 | — | 1,991 | — | 1,991 |
| その他 | — | — | — | 172 | 172 | — | 172 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 4,479 | — | 4,479 | 172 | 4,652 | — | 4,652 |
| その他の収益 | — | 139 | 139 | — | 139 | — | 139 |
| 外部顧客への売上高 | 4,479 | 139 | 4,619 | 172 | 4,791 | — | 4,791 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 0 | — | 0 | — | 0 | △0 | — |
| 計 | 4,480 | 139 | 4,619 | 172 | 4,792 | △0 | 4,791 |
| セグメント利益又は損失(△) | △537 | 102 | △434 | 26 | △407 | △23 | △430 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|---------|-------|-------|--------------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 繊維事業 | 不動産事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| レッグウェア | 2,348 | — | 2,348 | — | 2,348 | — | 2,348 |
| インナーウェア | 1,850 | — | 1,850 | — | 1,850 | — | 1,850 |
| その他 | — | — | — | 157 | 157 | — | 157 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 4,199 | — | 4,199 | 157 | 4,357 | — | 4,357 |
| その他の収益 | — | 140 | 140 | — | 140 | — | 140 |
| 外部顧客への売上高 | 4,199 | 140 | 4,339 | 157 | 4,497 | — | 4,497 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,199 | 140 | 4,339 | 157 | 4,497 | — | 4,497 |
| セグメント利益又は損失(△) | △402 | 105 | △297 | 25 | △271 | △13 | △284 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 106百万円 | 121百万円 |